



与路小・中学校 学校だより

瀬戸内町立与路小・中学校 学校だより「与路っ子」令和6年度2月号

与路っ子 2

命の喜び生き方 「5つの誓い」

校長 川井 功作

腰塚勇人さんの言葉より



数年前、フジテレビ「奇跡体験！アンビリバボー」で紹介された腰塚勇人さんの「命の授業」。中学校の体育教師だった腰塚さんは、スキーの事故で全身まひとなり、絶望の中で自分の命と向き合いながら、そのとき考え感じた様々なことを「命の授業」として伝え続けている方です。その中の言葉をいくつか紹介します。「命が大切 命を大切に その言葉を何千、何万回言われるのと同じくらい **あなたが大切** この言葉に 命は喜び 生きる力が湧きました」、「楽しいとき、幸せなとき、ばかりじゃない 辛いときだって、苦しく不安なときだってある 『助けて』って言ういい その言葉を待っている人は必ずいる 力になってくれるドリー夢メーカーは必ずいる」・・・。ズシンと心に響いてきます。君たち一人一人がかけがえのない存在であり、「あなたが大切」なんだ。 君たちには必ず力になってくれる「ドリー夢メーカー」はいるのだと、腰塚さんは自身の経験から力強く訴えています。その一つ一つの言葉には、とても深さと重みを感じます。そして身体に障がいを残しながらも仕事に復帰したときに、自分で5つのことを決めたそうです。「口は人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう」「目は人のよいところを見るために使おう」「耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう」「手足は人を助けるために使おう」「心は人の痛みがわかるために使おう」。この5つを腰塚さんは、「命の喜び生き方『5つの誓い』」と表現しています。命の喜び生き方をすると決め、それを具体的に行動に移すために自分との約束が「5つの誓い」だったそうです。私たちが日常生活を見つめ直す視点を与えてくれている気がします。口・目・耳・手足・心の使い方。改めてこの5つの視点で振り返ってみてはどうでしょうか。そして、自分の「命の喜び生き方」について少し考えるきっかけになるとよいですね。

心の教育講演会

2月20日（木）、瀬戸内町郷土館より、町健次郎先生をお迎えし、奄美・与路の文化と歴史についてお話をいただきました。

先生の子ども時代の話から今に繋がる話や与路についての話を「島遊び」というテーマで、子どもたちにも分かりやすく語ってくれ、あっという間に時間が過ぎていきました。留学生も1年近く住んでいるけど知らないことばかりだったと目をキラキラ輝かせていました。



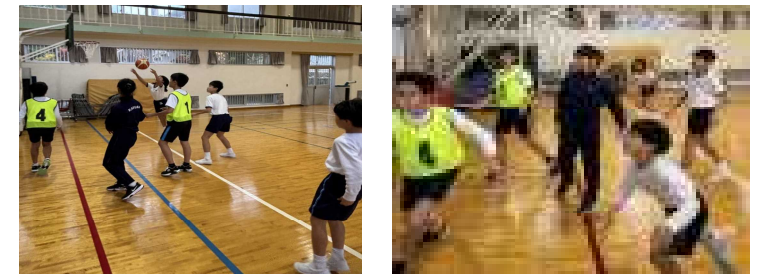
心の健康

2月の保健目標「心の健康について考えよう」でした。そこで、子どもたちが「嫌なことや辛いことがあったらどうすればいいか」を考え、ポスター制作に励みました。また、保健タイムでは、リフレーミング（別の見方）をみんなで学び、自分の中にいる鬼（節分の時期だったので）と向き合っていました。



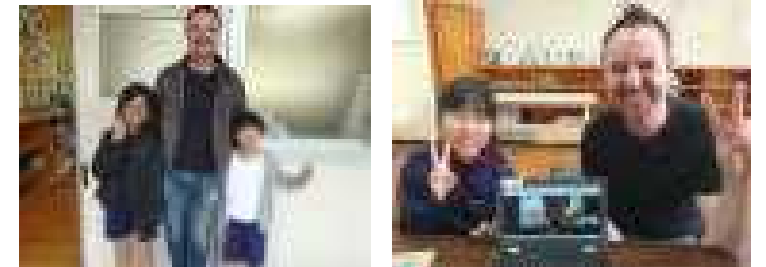
合同体育

与路小中学校では、それぞれの学年で体育の授業は行われていますが、週に1時間全校で合同体育を組んでいます。いつもは2人の授業ですが、このときは全員で賑やかに楽しく授業を受けています。少ないとできない球技ができて楽しみになっています。



最後の授業

今年度1年間お世話になったALTのグレッグ先生と、今年度は最後の授業となりました。本校の児童生徒は基本的に1年間の留学生なので、来年度本校でグレッグ先生の授業を受けることがありません。子供たちも分かっていて、今までお世話になった分、感謝の気持ちを抱きながら、楽しかった1年間を振り返っていました。



おもな3月の行事

- 7 (金) お別れ遠足
- 8 (土) ふれあいポッチャ大会
- 24 (月) 小学校卒業式
- 24 (月) 修了式・離任式

